

ニーズを捉えて 使い勝手を追究する

CsideNetの特徴は、標準で提供されるウイルスチェックなどの多機能・高品質と安心のサポートにある。だが、人気の秘密はそれだけではない。“使いやすさ”というキーワードで、考えに考え抜かれたユーザー向け管理ツール「コントロールパネル」も特徴の1つだ。今回は、同社自慢の管理ツールにフォーカスしよう。

ユーザーの使い勝手を 第一に考えたコントロールパネル

親切かつ迅速なメールサポートで話題のCsideNetだが、同社のレンタルサーバーサービス「C'S SERVER」の魅力はそれだけではない。そこには、ユーザーが各種の設定やユーザー情報を確認するためのコントロールパネルの存在も大きな比重を占めている。

コントロールパネルは、SSLにより保護された専用のページからログインする。メールの各種設定（メーリングリストやメールマガジン）、アクセスログの取得、サーバーや利用状況の確認、アクセスカウンターの設定、データベースの設定（Movable Typeなどに利用）、アクセス解析などがコントロールパネルから行えるようになっている。

その使いやすさには定評があり、「コン

ロールパネルの利用方法に関する問い合わせはほとんどありません（技術サポート担当の中園洋さん）という言葉がそれを裏付けている。たとえば、メールアドレスの設定1つを取っても、追加と削除はもちろん、パスワードの設定、転送先、自動応答の有無、設定情報の通知などの設定および状況確認が、非常にわかりやすいインターフェイスで迷うことなく実行できる。レンタルサーバーを契約して情報発信しようというスキルレベルのある人ならば、苦もなく使いこなせるに違いない。「コントロールパネルなどの管理ツールは可能なかぎり社内でも開発しています（中園さん）ということなので、このあたりにも使いやすさの秘密があるのだろう。

サーバーの高機能化とともに コントロールパネルは常に進化する

コントロールパネルはCsideNetが自社で開発しており、そのメール部分の開発を担当する田中直文さんは「コントロールパネルは、4年前のサービス開始当初から用意しておりますが、その内容は年々進化しています」と明かしてくれた。つまり、ユーザーの要望や同社のサービス内容の変化にともない機能の面でもユーザービリティの面でも、コントロールパネルは日々高機能化しているという。

ユーザーの要望を取り入れるという部分では、「お客様が乗り換え前に利用していたレンタルサーバーと同等の機能やインターフェイスを希望される場合もありま

The screenshot shows the C'S SERVER website interface. At the top, there's a navigation bar with tabs for 'ホーム', 'サブドメイン', 'お問い合わせ', '料金', 'よくある質問', 'お問い合わせ', 'お問い合わせ'. Below the navigation, there's a main banner with the text 'お客様の「？」を「満足」へ' and 'サーバー乗り換えキャンペーン' with a '無料!' tag. The main content area is divided into several sections: 'What's New' with dates and news items, 'サブドメインサービス' with a '手軽にホームページを持ちたい方' and pricing, 'C'S SERVER 運用状況' with a graph and '独自の運用状況', and 'サブドメイン情報' with 'サーバー乗り換えをお考えの方' and a 'cc.com' logo.

C'S SERVER Personalには、月額1,890円前後で独自ドメインによる情報発信が可能な「独自ドメイン」と月額780円の「サブドメイン」がある。個人や中小法人の利用が多い。このほか、事業者向けにセキュリティ機能を重視した共用サーバーサービスのC'S SERVER Professionalを用意する。



今回インタビューに応じてくれたCsideNetのコントロールパネル開発スタッフ、中園洋さん(左)と田中直文さん。



SSLで暗号化されたログインページから入ると最初に表示されるコントロールパネルのトップ画面。新着メールの確認、問い合わせフォーム、問い合わせ履歴、個人情報の修正などがここから行える。



コントロールパネル内のメール設定画面。アドレスの追加・削除はもちろん、メーリングリストやメールマガジンの設定もここから簡単に行える。上段「Support page」からはFAQの確認も可能だ。

す。1つ1つの要望すべてにお応えすることは難しいのですが、どこまで対応できるかを社内で精査して可能なものは追加しています（田中さん）とのことだ。また、機能の追加はユーザーからの要望だけでなく、「自分たちがC'S SERVERを使っていて不便に感じたり欲しいと思ったりした部分はお客様も同様に感じているはずなので、順次実現してきました。もちろん、今後もその姿勢は変わりません（中園さん）と話す。

コントロールパネルの機能追加とは異なるが、同社のそういった姿勢を示す例に、データベースサーバーの提供がある。CsideNetでは3月からC'S SERVER Personalのユーザーに対し、追加料金なしでデータベースサーバーの提供を始めた。これは、昨年の夏あたりからブログ用のアプリケーションである「Movable Type」の利用に関する問い合わせが増えた（中園さん）ので、それに対応するためだという。このように、ユーザーの要望がある程度集まった場合、それを吸い上げて自社

「自分たちが使っていて不便に感じる部分はお客様も同様に感じているはず」という姿勢を反映

のサービスや機能に即座に追加していく姿勢こそが、同社の人気の秘密であり急成長の原動力だろう。

コントロールパネルからあらゆる操作が可能になる！？

では、同社のコントロールパネルは今後どのように進化していくのだろうか。「スパムメールのフィルタリング機能の導入を検討していますので、コントロールパネルからその設定などを行えるようにするつもりです（田中さん）という。受け取りたくない迷惑メールがあれば、その本文中などに含まれる言葉をコントロールパネルから指定することで、サーバー側で自動的に排除できる機能が追加される。

また、ホームページ用のファイルをアップロードするための「FTP機能も追加していきたいと考えています（中園さん）。これが実現すれば、別途FTPソフトを起動

することなく、更新などの作業がブラウザだけで行えるうえ、セキュリティ面でも安全だ。さらに、今後はより使いやすいカウンターの設定や詳細なアクセス解析機能の提供なども予定している。

実は、コントロールパネルの進化はそれだけにとどまらない。同社の事業者向けサービス「C'S SERVER Professional」では、サポートを依頼する際、コントロールパネルから希望の担当者を選んで問い合わせ内容を送信できる。これは、スタッフのプロフィールなどを見て、担当してほしい人を自ら指定して依頼できる仕組みだ。将来はこれを「C'S SERVER Personal」にも導入する予定だという。

同社の最大の武器である手厚いサポート思想をコントロールパネルの機能にまで取り込んでしまうあたりは、「ホスティング事業は接客業」と公言するCsideNetならではの姿勢と哲学が見て取れる。

C'S SERVER Personalの概要

プラン名	独自ドメイン型	サブドメイン型
初期費用	3か月契約3,150円 / 12か月契約無料	3か月契約2,100円 / 12か月契約無料
月額利用料金	3か月契約1,890円 / 12か月契約1,680円	3か月契約780円 / 12か月契約735円
ウェブスペースのディスク容量	200MB	100MB
メール容量	100MB	50MB
メールアドレス	50個	20個
主な機能	PHP/Perl対応、データベース、アクセス解析、アクセス制限、アクセスカウンター、アクセスログ(生ログ)、ウェブメール、メーリングリスト、メールマガジン、メール転送、メールセキュリティ対策	利用可能ドメイン[.or.tv][.if.tv][.html.tv][.serio.jp][.edisc.jp][.fromc.jp]など、PHP/Perl対応、データベース、メーリングリスト、メールマガジン、メール転送

C'S SERVER Personalは大きく2つのメニューに分かれている。1つは独自ドメイン型共用レンタルサーバーサービスの「独自ドメインサービス」だ。これは月額1,680円～1,890円で、リーズナブルな料金で独自ドメインによる情報発信を行いたいユーザーにはぴったりのメニューだ。一方、サブドメイン型の「サブドメインサービス」は月額780円でディスク容量100MB、メール容量50MBが割り当てられる。

お問い合わせ先：株式会社シーサイドネット info@cside.jp